

円山川大規模氾濫減災対策協議会 第三回協議会 議事要旨

日時：平成29年6月6日（火） 13:00～14:20

場所：豊岡市立交流センター「豊岡稽古堂」3F 交流室

参加者

豊岡市長（代理 防災監）
気象庁神戸地方気象台長
兵庫県但馬県民局総務企画室長
兵庫県但馬県民局豊岡土木事務所長
近畿地方整備局豊岡河川国道事務所長
事務局
豊岡河川国道事務所調査課 建設専門官

議事内容

1. 規約の改訂

- ・組織名称変更による規約の変更が承認された。

2. 幹事会の報告

- ・第3回幹事会、第4回幹事会の報告が事務局より行われた。

3. 円山川の減災に係る取り組み方針に基づいた5年間のスケジュール（案）

- ・協議会で指摘頂いた点、修正すべき点について、事務局で案に反映し、後日構成機関に調整・確認することで、5年間のスケジュール案は承諾を得た。
- ・各構成機関が実施した平成28年度の主な取り組みについて事務局より報告。

（主な意見）

- ・タイムラインによる防災行動の開始を72時間前としているが、誰が判断するのか。
- ・台風については位置により予報ができるが、梅雨については予測することは難しい。
- ・市としては国と県でタイムラインの時間軸が異なると対応が難しい。
- ・県では但馬地域の総合治水の取組を推進するため、但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会を設置し、推進計画を策定している。「水防災意識社会再構築ビジョン」等を踏まえた取組についても、総合治水推進計画に位置づけ進めていくこととしており、当協議会との連携を図りたい。
- ・建設業協会との協定が国、県、市で同じ場合の調整はどのようにするのが課題である。

- ・防災ステーションの機能に関する検証は平成30年度完了目標としているが、六地蔵拠点については試験盛土による沈下観測を実施しているところであり、「平成30年度までに防災ステーションが完成する」と市民に誤解を与える可能性があるので記載内容を工夫する必要がある。
- ・資料5の取り組み機関の◎・○標記、文字色の違い、計画規模の内容が市民にも分かるように凡例等を記載する必要がある。
- ・土砂災害の模型実演や豪雨体験などを但馬地域でも紹介して頂ければ有難い。

以上